

第8回海技教育機構研究発表会 2021年10月25日～11月5日（オンデマンド開催）

発表題目	氏名 ○印は発表者
船舶運航技能の実践力の育成と習得環境に関する研究	○石倉歩 他海技大学校航海科教員（22名）
退船における乗船者の脱出に関する基礎的研究	○山下智之、山本一誠、浅木健司、袴田慶成、伊藤友希
練習船行動の策定に関する一提案	○藤来靖矩、外谷進、長谷川恭通、伊東正人、徳留功樹
練習船における効果的な航海当直実習方法に関する研究—ENCの各種情報レイヤーの活用—	○比江島淳、市川義文、石丸義樹
非言語（ジェスチャー）を活用した訓練手法	○村松渚沙、恵美裕
海技大学校におけるオンデマンド授業への取り組み	○石丸義樹、田中賢司、宮田亮史、町田健三、藤原宏、齊藤学、片倉広暁、水島祐人、石橋諒大、石倉歩
練習船における効率的かつ効果的な講義・実習方法の検証—練習船における映像講義の作成に関する考察—	○齋藤真範、寺尾司
練習船における効率的かつ効果的な講義・実習方法の検証—練習船の実習における動画教材の活用方法—	○齋藤真範、寺尾司
新たな三級海技士養成課程（新人船員）構築に係る取り組み—航海科 座学と練習船実習一貫性カリキュラムの構築—	○杉田和巳、齊藤学、田中大悟、岩木稔、藤江晋平、間島良博、外谷進
新たな三級海技士養成課程（機関）の構築に関する調査研究	○角和芳、長谷川雅俊、井上尚則、有田俊晃、釜我里紗子
極水域を運航する船舶のための上級訓練に係る教育手法に関する研究	○久保野雅敬 他 Polar 講習担当グループ
高圧配電盤講習の構築に関する調査研究について	○角和芳、長岡晋也、山田知佳
IGF 講習の拡充に関する取り組みと課題（第一報）	○佐藤圭司 他 IGF 講習担当グループ
Engineering routine remedial work in manned machinery spaces ship —challenging for maritime autonomous surface ships—	○中島惇貴、恵美裕
船内の塗装作業における作業環境測定について	○水溜青雲、竹本航平
カリフォルニア更新の記録 m-SHELL モデルを用いた温水温度推移の—考察—	○金乃寿憲、佐藤更、山田悠人、山本訓史
「船舶局無線従事者証明に係る認定新規訓練」学習効果を高めるための効率的な訓練実施方法に関する—考察	○鈴木健司、小澤春樹
IMO SMCP に基づく語彙表開発—Maritime English Word List 中の動詞の用法—	○水島祐人
日本の女性船員の労働状況と改善策に関する調査・検討	○万谷小百合、田中賢司、逸見真（東京海洋大学）
内航タンカーのヒヤリ・ハット報告から見た事故・トラブルの背後要因に関する—考察	○浅木健司、山本一誠、町田建三、岸和宏（旭タンカー株式会社）
明石海峡航路における海事英語の教育・訓練に関する研究—対面授業とリモート授業の相互性獲得へ向けて—	○田中賢司、杉田和巳、水島祐人

第7回海技教育機構研究発表会 2020年10月20日～10月22日（オンデマンド開催）

発表題目	氏名 ○印は発表者
練習船における映像講義の実施方法の検証について	○齋藤 真範 寺尾 司
海技大学校での海事英語教育における多言語アプリ Voice Tra の可能性について	○田中 賢司 杉田 和巳
フルハーネス型墜落制止用器具の特別教育について—船上における高所作業への適用—	○大井 一道 長洲 光司 南屋 太郎
Dynamic Positioning Operator (DPO) の養成訓練について—技術資料—	○松島 功記 伊藤 洸太郎
BRM 訓練に見る内航船員のコミュニケーションの特徴	○浅木 健司 山本 一誠
船舶における塗装作業管理者に求められる能力基準の提案	○町田 健三 浅木 健司 山本 一誠
「衝突のおそれ」から避航開始時機の検証	○万谷 小百合 藤本 昌志（神戸大学）
外地における携帯電話データ通信サービスの利用に関する検証	○渡部 翔 天野 善昭 伊佐 拓也 小澤 春樹
船陸間マルチメディア通信の効率化に関する調査研究—MSI（海上安全情報）の取り扱いに係わる教育教材作成—	○霜田 一将 藤井 肇 小澤 春樹 木村 昭夫
「船舶の水中騒音低減を目的とした CPP 翼角と回転数との関係について」	○山田 知佳 清水 悦郎（東京海洋大学）
青雲丸の空気調和装置に関する—考察	○伊藤 祐基 杉本 文太 有田 俊晃
練習船大成丸における新型コロナウイルス対策について—安心・安全な実習環境の構築と効果的な航海訓練の実施—	○竹本 航平 尾辻 克明 霜田 一将 中野 弘也 岡村 知則
CREAM を適用した DP 船の事故分析手法に関する研究	○片倉 広暁 竹本 孝弘（東京海洋大学）
最近 10 年間の船舶火災についての—考察	○濱田 聡樹 石倉 歩
夏季バシー海峡～シンガポール間の航海について	○丹羽 祥二郎 山岸 拓央 高村 謙二 菊池 章友

第6回海技教育機構研究発表会 2019年9月30日

横浜会場

発表題目	氏名 ○印は発表者
海技教育機構における安全文化の発展について～レジリエンス・エンジニアリングの視点によるアプローチ～	○伊東 正人 小澤 春樹 寺尾 司 外谷 進
練習帆船における訓練の方法に関する一考察～登しよう作業における安全対策について～	○徳留 功樹 岡 あや乃 伊東 正人 外谷 進
オンボード型機関室シミュレータの活用について～主機暖冷機実習及びブラックアウト対応訓練～	○角 真紀 三好 直巳
大成丸のスラスト翼角制御機能の最適化に関する検討～経年的汚損による傾向と対策～	○釜我 里紗子 伊藤 祐基 出口 一郎 有田 俊晃
主冷却海水系統に付着した海洋生物対策～系統の清水置換効果の検証～	○速水 健斗 出口 一郎 有田 俊晃
実習生のパソコンスキル向上のための取り組みについて一考察	○伊佐 拓也 小澤 春樹
自発的な海事英語学習を支援する海事英語演習プログラムの考案 高等専門学校第4学年航海科長期実習生に対する取り組み	○藤来 靖矩 新田 邦繁 伊東 正人 大井 一道
2024年のSOLAS条約改正(予定)による係船索を含む係船設備の点検保守に関する実践的対応について	○樋渡 亮 巢籠 大司
練習船大成丸平成30年台風24号(Trami)避泊概要	○福井 寛明 岩崎 裕行 藤井 肇 天野 善昭 小澤 春樹
2019年度海王丸遠洋航海におけるダーウィン寄港について	○伊藤 友希 江口 由華 木戸 秀太郎 外谷 進
練習船実習生を対象とした安全教育に関する研究～「ヒューマンエラー対策教育」の試行とその評価～	○伊藤 洸太郎 村田 信 猪野 杏樹 岩崎 裕行
練習船実習生のヒューマンエラー防止に対する意識調査	○猪野 杏樹 村田 信 伊藤 洸太郎 岩崎 裕行

芦屋会場

燃料電池の大型船舶への導入に関する基礎検討	○角 和芳
連続モニタリング計測に基づく船舶推進動カシミュレーションモデルの構築	○長谷川 雅俊 内田 誠(神戸大学)
内航タンカーにおけるヒヤリ・ハット報告のウェブシステム化とデータマイニングの活用	○浅木 健司 山本 一誠 藤井 迪生 久保野 雅敬 岸 和宏(旭タンカー)
海上のサイバーセキュリティ教育に関する基礎調査及び研究	○奥富 雄司 宮島 英明
3D高精度対地速度計測による船体抵抗の推定に関する研究	○市川 義文 奥田 成幸 新井 康夫(元海技大学校) 新保 雅俊(東海大学) 山田 孝三郎(元日立造船)
MAIB 事故事例による海事英語教育について～機関科の事例を基にして～	○田中 賢司 杉田 和巳
生理指標を用いたシミュレータ教育訓練におけるトレーナーとトレーニーの緊張評価に関する研究	○戸羽 政博 村井 康二(東京海洋大学)
海事英語に対するスラッシュリーディング技法の適用について～英文構造の見える化を実践する～	○田中 賢司
通訳訓練を用いた海事英会話習得について～学習スパイラルプロセスにおける通訳訓練技法～	○杉田 和巳 田中 賢司 川崎 真人
国際条約等により規定される新たな教育訓練にかかる研究	○市川 義文

第5回海技教育機構研究発表会 2018年9月20日

発表題目	氏名 ○印は発表者
ヒューマンエラー発生メカニズムの理解促進に関する研究－『JR 東日本「他山の石」置換え支援ツール』に基づく練習船で発生したヒヤリハットの分析－	○村田 信、須藤 信行、平山 悠太、中村 哲
実習生を対象としたヒューマンエラーに関する意識調査 ー乗組員との比較ー	○山田 悠人
乗船実習に於ける実習生の安全意識向上に関する研究－危険記録シート：Risk Record Sheet(R2 Sheet)の試行及び結果について－	○山岸 拓央
船員養成における学校の自己完結性と学習の往還（その2）－調理実習の観察に基づく分析－	○坂 利明
座学と訓練における一貫性のあるカリキュラムへの対応について 機関係訓練項目の指導方法と学習時間の検証	○楠将史、恵美裕、熊上尚男（運輸安全委員会）、高村謙二
「船舶局無線従事者証明に係る認定新規訓練」遠洋航海時の無線室当直における学習効果・理解度向上についての一考察	○天野 善昭、小澤 春樹
日露親善交流行事への参加とウラジオストク港湾事情	○岡 あや乃、田中 識啓、菊池 章友、熊田 公信
大型帆船の帆走性能に関する研究－冬季北太平洋における日本丸の最適航路の検証について－	○比江島 淳、阿部 真二郎
平成30年度海王丸遠洋航海におけるカフルイ寄港と帆船での機走によるハワイ諸島への航海について	○若松 幸秀、山岸 拓央、菊池 章友、熊田 公信

第4回海技教育機構研究発表会 2018年7月24日

発表題目	氏名 ○印は発表者
[機関科重点研究]新エネルギー輸送並びに新技術に対応した機関士教育に関する調査研究	○山田 知佳
機関シミュレータに対応したインストラクター養成に関する研究－第2報：訓練指針の標準化－	○吉原 広太郎
[事例研究]輸送艦「おおすみ」プレジャーボート「とびうお」衝突事件	○岩瀬 潔
[航海科重点研究]海の技術者づくり-IV船舶の運航技術の伝承に関する研究	○杉田 和巳

第3回海技教育機構研究発表会 2017年9月28日

発表題目	氏名 ○印は発表者
国際条約及び新規法令対応講座について	○関 祐一 ○遠藤 小百合○松崎 範行
JMETS 練習船における六級海技士（航海）養成訓練について－練習船銀河丸訓練報告－	○南屋 太郎
船員養成における学校の自己完結性と学習の往還－授業及び校内練習船実習の観察に基づく分析－	○坂 利明
落水者救助操船法に関する研究－大成丸における原針路復帰操船法－	○木下 祥二郎、袴田 慶成、新田 邦繁
ナウリウリ港湾事情	○大田 大、真鍋 吉範、阿部 真二郎
外地寄港中における教育交流活動について－OAHU 及び KAUAI で実施した交流の紹介－	○中川 浩一郎、岡 あや乃、長瀨 光司、奥 知樹
機関実習用タブレット教材の活用方法について	○角 真紀、小林 大
外航船員教育訓練に関する取組み－機関保守整備作業におけるマネジメント能力の向上－	○下田 壮一、熊上 尚男
海王丸における長期停泊時の燃料節約の取り組みについて－地球温暖化防止のための停泊時の二酸化炭素放出抑制－	○杉本 俊輔、東福 守
アンケート調査に基づく実習訓練の改善について－主機ピストン抜き実習－	○齋藤 真範、下川 忠
気象情報等の共有化による運行管理－Weather Routing ソフトウェアを利用した最適航路の検証について－	○澤村 徹、熊田 公信、甲斐 繁利、阪本 義治
低速時における船体運動特性に関する研究－主機操縦装置更新後の日本丸（FPP 2 軸 1 舵船）の操縦性能について－	○長瀨 光司、片山 湧造、阿部 真二郎
低速時における船体運動特性に関する研究－日本丸（FPP 2 軸 1 舵船）によるその場回頭について－	○片山 湧造、長瀨 光司、阿部 真二郎
大型帆船の帆走性能に関する研究－冬季北太平洋における日本丸の最適航路選定について－	○梶山 信之、阿部 真二郎

第2回海技教育機構研究発表会 2016年7月31日

発表題目	氏名 ○印は発表者
最近のエンジン動向に対応した機関室シミュレータ教育に関する基礎研究	○佐藤 圭司 段 智久
ERM スキルの効果的な活用に関する研究第2報：行動指標	近藤 宏一 ○吉原 広太郎
JMETS 練習船における6級海技士（航海）養成訓練について	○南屋 太郎
航海情報としての気象要素表示に関する調査研究	○市川 義文 石倉 歩
ECDIS を使用した航路監視、他船監視を行う際の実施タスクに関する研究－他船監視に関する－考察－	○宮島 英明 奥富 雄司 大井 一道 石倉 歩
航路制御機能（TCS）の現状と動向に関する基礎研究	○奥富 雄司 石倉 歩 宮島 英明 大井 一道
教育・訓練プログラム改善の為に船員技能抽出に関する－考察－内航タンカーにおける着積操船時の着眼点の調査－	○藤井迪生 浅木健司 加藤由季 山本一誠 久保野雅敬 岸和宏
BRM 訓練に用いるシミュレーションシナリオの評価に関する－考察－訓練受講者による評価結果の利用法について－	○久保野 雅敬 浅木 健司 藤井 迪生 山本 一誠
KYT のための効果的な教育に関する基礎的研究	○山本一誠 浅木健司 藤井迪生 久保野雅敬 原憲一

第1回海技教育機構研究発表会 2016年9月29日

発表題目	氏名 ○印は発表者
IMOの極海コードに係る訓練要件の策定と訓練課程の準備状況	○巢籠大司 遠藤小百合 久保野雅敬 佐藤歩美 伊崎朋康
IGFコードに対応する訓練課程の準備状況	○佐藤 歩美 巢籠 大司 前田 潔
6級航海専修に対するオンボード操船シミュレータ装置を活用した実習手法について	○阿部大志 天野佳保里 木戸秀太郎 新田邦繁
機関室シミュレータを用いたERM訓練について -ERM教育訓練に対する意識醸成-	○楠 将史 野田悠太郎 奥田勝三
プロジェクションマッピング技術を利用した機関シミュレータ開発について	○松崎範行
海技大学校のボイラ設備を用いた船員教育訓練プログラムの策定	○中村雄史 伊丹良治
海外の海事英語教育事情(その1) VMUとGMUについて	○田中賢司